

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 212-0014

住 所 川崎市幸区大宮町1310番

氏 名 エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社

代表取締役社長 工藤 公敏

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区千鳥町1番2号		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	産業 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	工業プロセス 部門
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の業容	有機酸製品、有機酸系誘導品、キノン系製品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	13,441 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input checked="" type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	12,926 t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

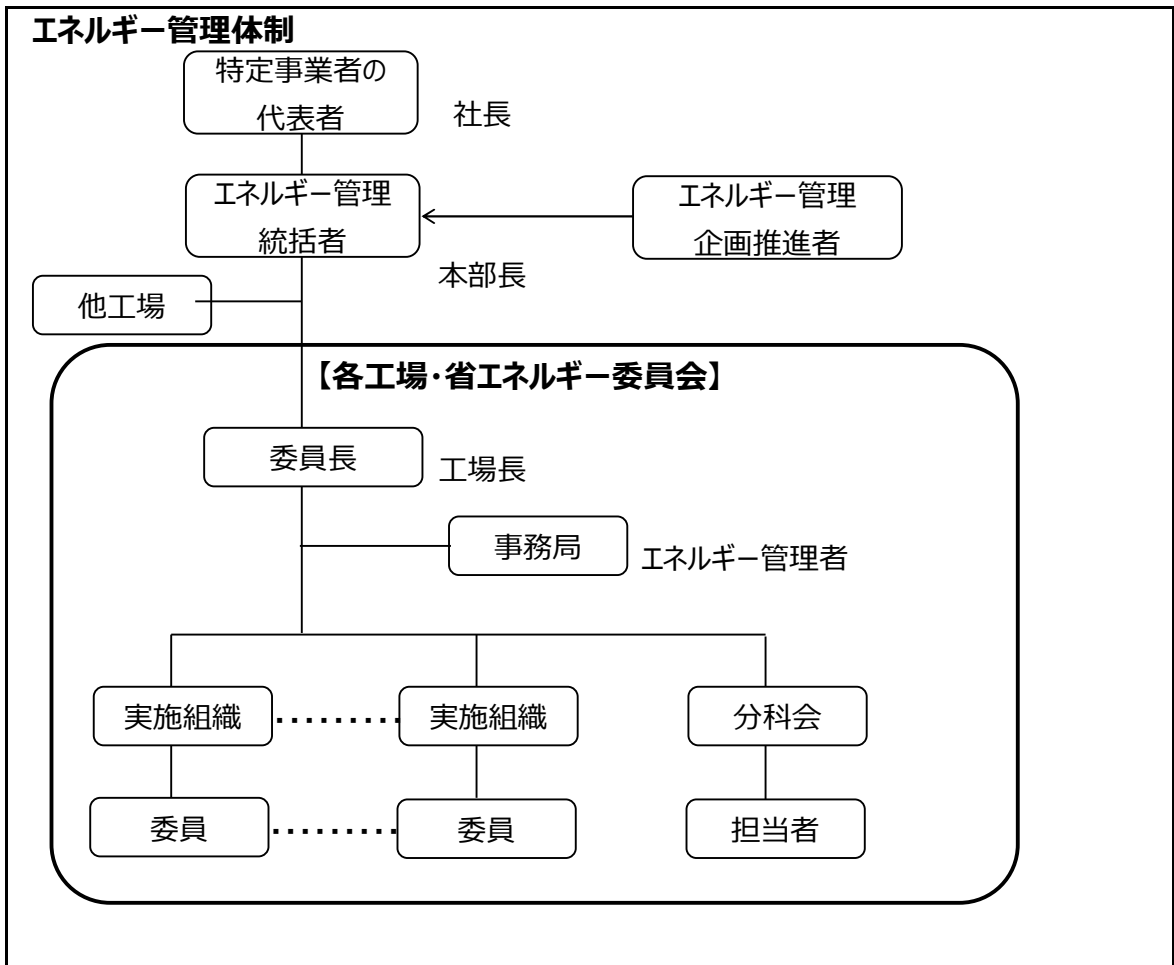
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

- ・「エネルギーの効率的使用」「環境負荷の削減」等を全社の環境方針に掲げ生産活動を進める。(ISO14001環境マネジメントシステム準拠)
- ・省エネルギー委員会を組織し、省エネルギー及び温室効果ガスの削減を推進する。
- ・親会社の削減目標である「2030年GHG排出量を2020年度比30%削減」を準拠する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理(PDCAサイクル)を行うための方針

- 省エネルギー委員会にて下記事項を実施する。
- ・エネルギー使用に係わる年度計画を定める。
 - ・年度計画の進捗状況を管理する。
 - ・エネルギーの使用状況を管理し、省エネ効果・温室効果ガス削減効果を確認する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量	(基) 26,548	(基)	(基)	(基)	(基)	12,926
	(t-CO ₂)	(調) 26,548	(調)	(調)	(調)	(調)	12,926
目標	排出量	(基) 22,054	(基)	(基)	(基)	(基)	12,926
	(t-CO ₂)	(調) 22,054	(調)	(調)	(調)	(調)	12,926
削減	量	(基) 4,494	(基)	(基)	(基)	(基)	0
	(t-CO ₂)	(調) 4,494	(調)	(調)	(調)	(調)	0
削減	率	(基) 16.9 %	(基) %	(基) %	(基) %	(基) 0.0 %	(基) %
		(調) 16.9 %	(調) %	(調) %	(調) %	(調) 0.0 %	(調) %

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	2025年度	排出量	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)
		(t-CO ₂)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)
		削減量	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)
		(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	
		削減率	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	
			(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	
第2年度	2026年度	排出量	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)
		(t-CO ₂)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)
		削減量	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)
		(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	
		削減率	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	
			(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	
第3年度	2027年度	排出量	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)
		(t-CO ₂)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)
		削減量	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)	(基)
		(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	(調)	
		削減率	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	(基) %	
			(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	(調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2024	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	26,416 21,963	(基) (調)		(基) (調)	12,926 12,926
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	22,054 22,054	(基) (調)		(基) (調)	12,926 12,926
削減率 (目標)	(基) (調)	16.5 % -0.4 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	0.0 % 0.0 %
削減率 (第 1 年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率 (第 2 年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率 (第 3 年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

製造プロセス改善等でエネルギー起源の排出量を約17%削減する。生産プロセスの簡素化およびコンプレッサー等省エネ機器への更新により、約4,500 t削減可能と考える。
4号については改善予定なし。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計画	(1) コンプレッサー等省エネ機器への更新 (2) 生産プロセスの簡素化 (3) 既設電動機器の改善 (4) 照明LED化 (5) 蒸気の有効利用 (6) 省エネ委員会の活動推進 (7) オフィスにおける省エネ推進
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量	寄与度		原単位等の単位		—
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費原単位の値	100.0				98.50
活動量の値	—				—
エネルギー消費原単位の削減率		%	%	%	1.5 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量	換算生産量		原単位等の単位		t-CO2/t
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量原単位の値	0.1142				0.1142
活動量の値	113,198				113,198
排出量原単位の削減率		%	%	%	0.0 %

(3) 目標設定に関する説明

エネルギー原単位については生産プロセスの簡素化およびコンプレッサー等省エネ機器への更新により、削減可能と考える。4号については改善予定なし。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移(1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	13,441 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO ₂ 排出量	26,548 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	3			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量<<クレジット考慮>>(t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎工場(千鳥)	川崎市川崎区千鳥町1番2号	26,494			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	(1) コンプレッサー等省エネ機器への更新 (2) 生産プロセスの簡素化 (3) 既設電動機器の改善 (4) 照明LED化 (5) 蒸気の有効利用 (6) 省エネ委員会の活動推進 (7) オフィスにおける省エネ推進
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項 (1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入 (基準年度)

種 類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入 (保有) 年度
太 陽 光	なし			予定なし
風 力	なし			予定なし
バ イ オ マ ス (燃料:)	なし			予定なし
そ の 他 ()				
そ の 他 ()				
合 計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電力エネルギー消費量	32,517,384 kWh	kWh	kWh	kWh	32,517,384 kWh
再エネ電源等	1,626,291 kWh	kWh	kWh	kWh	1,626,291 kWh
再エネ電源比率	5.0 %	%	%	%	5.0 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
排 出 係 数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.431				0.322

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電 化 の 割 合	53.9 %	%	%	%	53.9 %

(4) 目標設定に関する説明

再生可能エネルギー源の利用について検討中であるが、具体的目標の設定に至っていない。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	再生可能エネルギー源の利用について検討中	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における再生可能エネルギー等の導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	2050年以降の脱炭素化表明有・計画有			
内容	エア・ウォーターグループ全体の目標として2050年カーボンニュートラル達成			
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	2050年 年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	2030 年度	年度	年度	年度
	30 %削減 (2020)年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	有			
内容	2030年に2020年比30%削減			

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	定量的な記載有			
内容	Scope1, 2:2030年度までに30%削減(2020年度比)、Scope3についてはエア・ウォーターグループの一員として削減に取り組む。			

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<p>川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会及び川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会 合同会議に参画</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	

9 事業者における基準年度からの温室効果ガスの種類ごとの排出量の推移（4号該当者等）

温室効果ガスの種類	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
	温室効果ガスの量 (t-CO ₂)	温室効果ガスの量 (t-CO ₂)	温室効果ガスの量 (t-CO ₂)	温室効果ガスの量 (t-CO ₂)	温室効果ガスの量 (t-CO ₂)
①非エネルギー起源CO ₂ (②除く)	12,926				12,926
②廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源CO ₂					
③CH ₄					
④N ₂ O					
⑤HFC					
⑥PFC					
⑦SF ₆					
⑧NF ₃					